

3 日常生活について

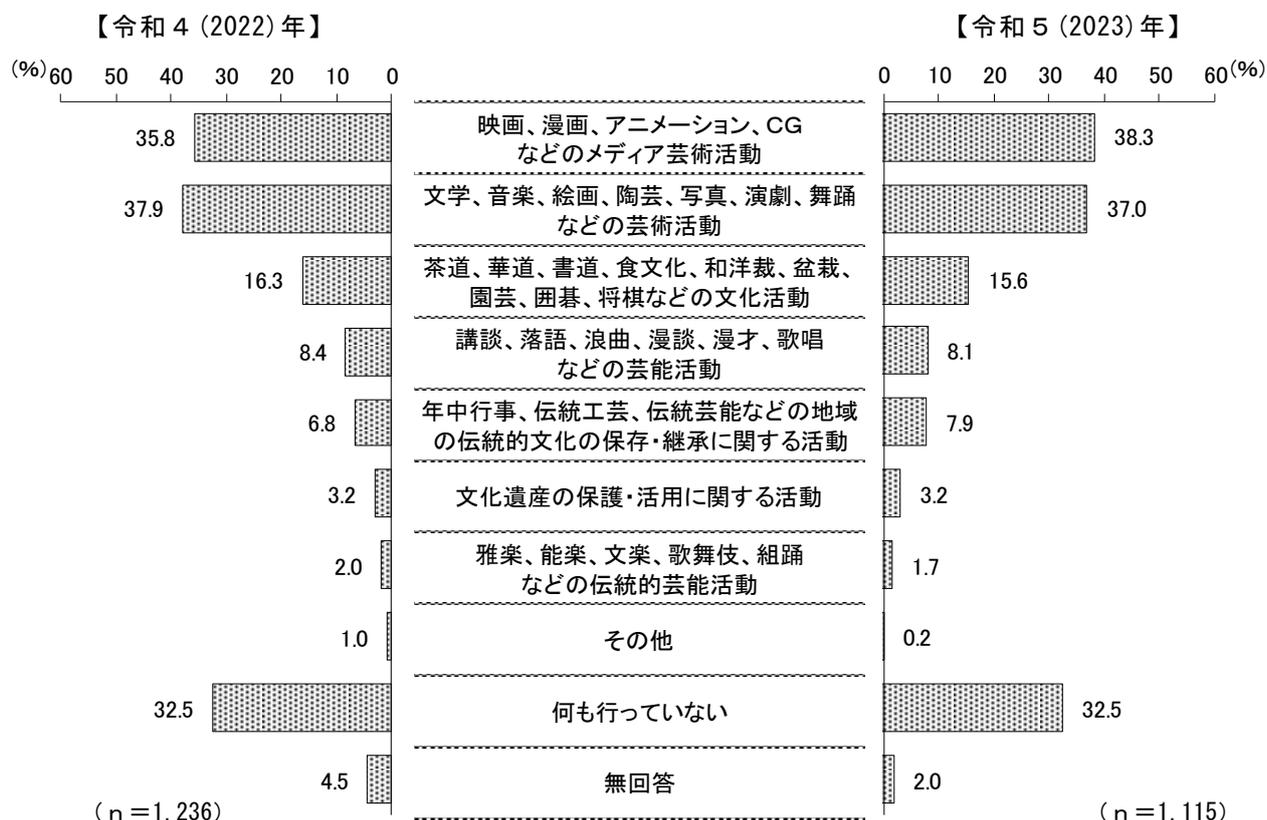
(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,115]

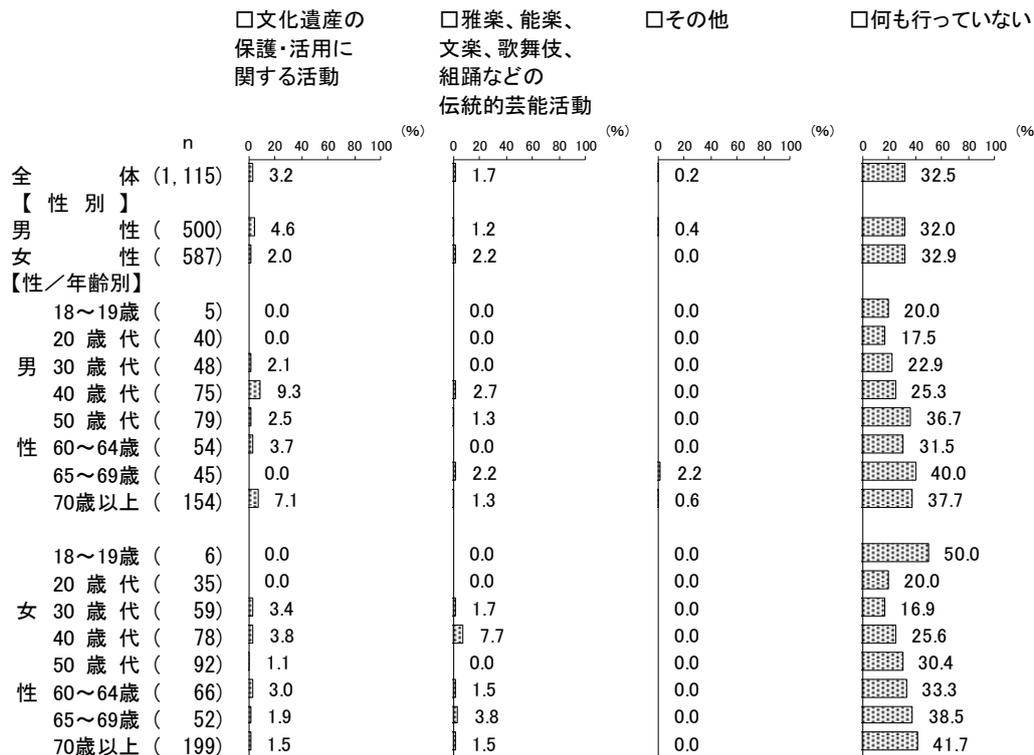
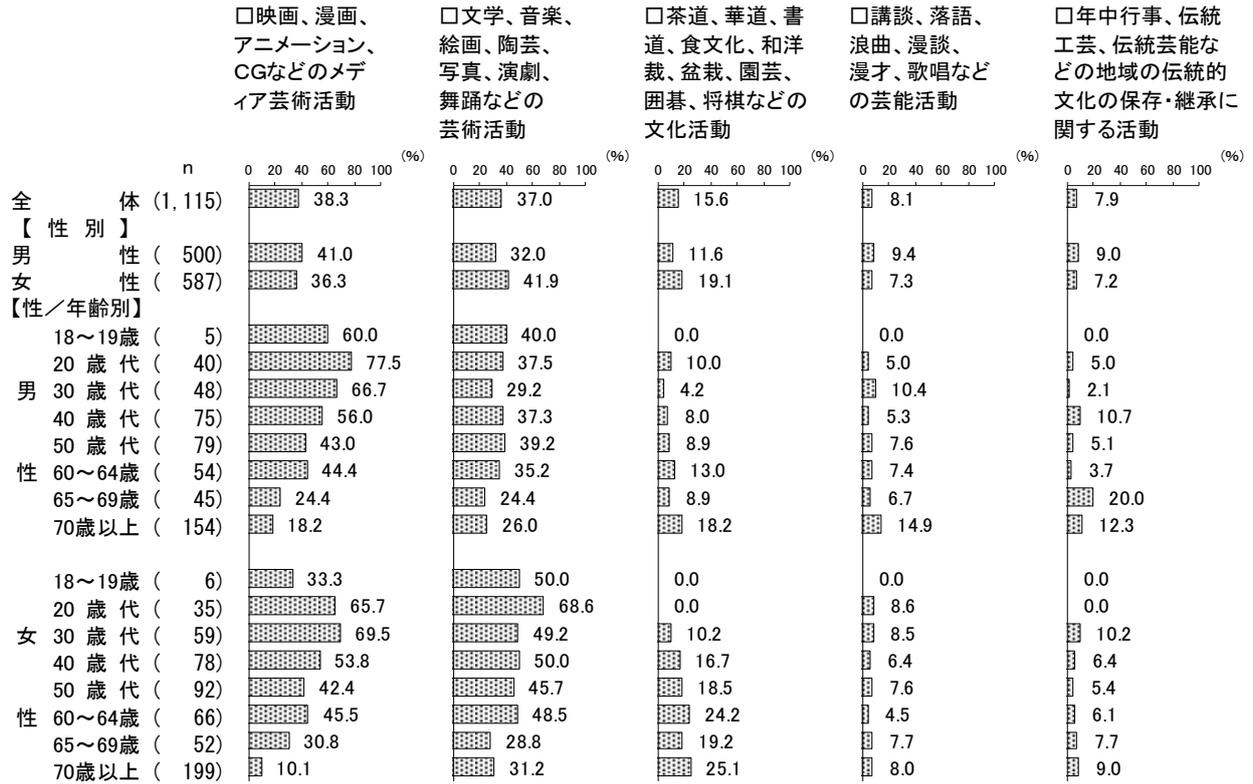
1	文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	37.0%
2	映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	38.3
3	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊などの伝統的芸能活動	1.7
4	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱などの芸能活動	8.1
5	茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	15.6
6	年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化的の保存・継承に関する活動	7.9
7	文化遺産の保護・活用に関する活動	3.2
8	その他	0.2
9	何も行っていない	32.5
	(無回答)	2.0



全体で見ると、「映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動（以下『メディア芸術活動』という。）」（38.3%）が4割近くで最も高く、次いで「文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」（37.0%）の順となっている。一方、「何も行っていない」（32.5%）が3割強となっている。

前回（令和4(2022)年）の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

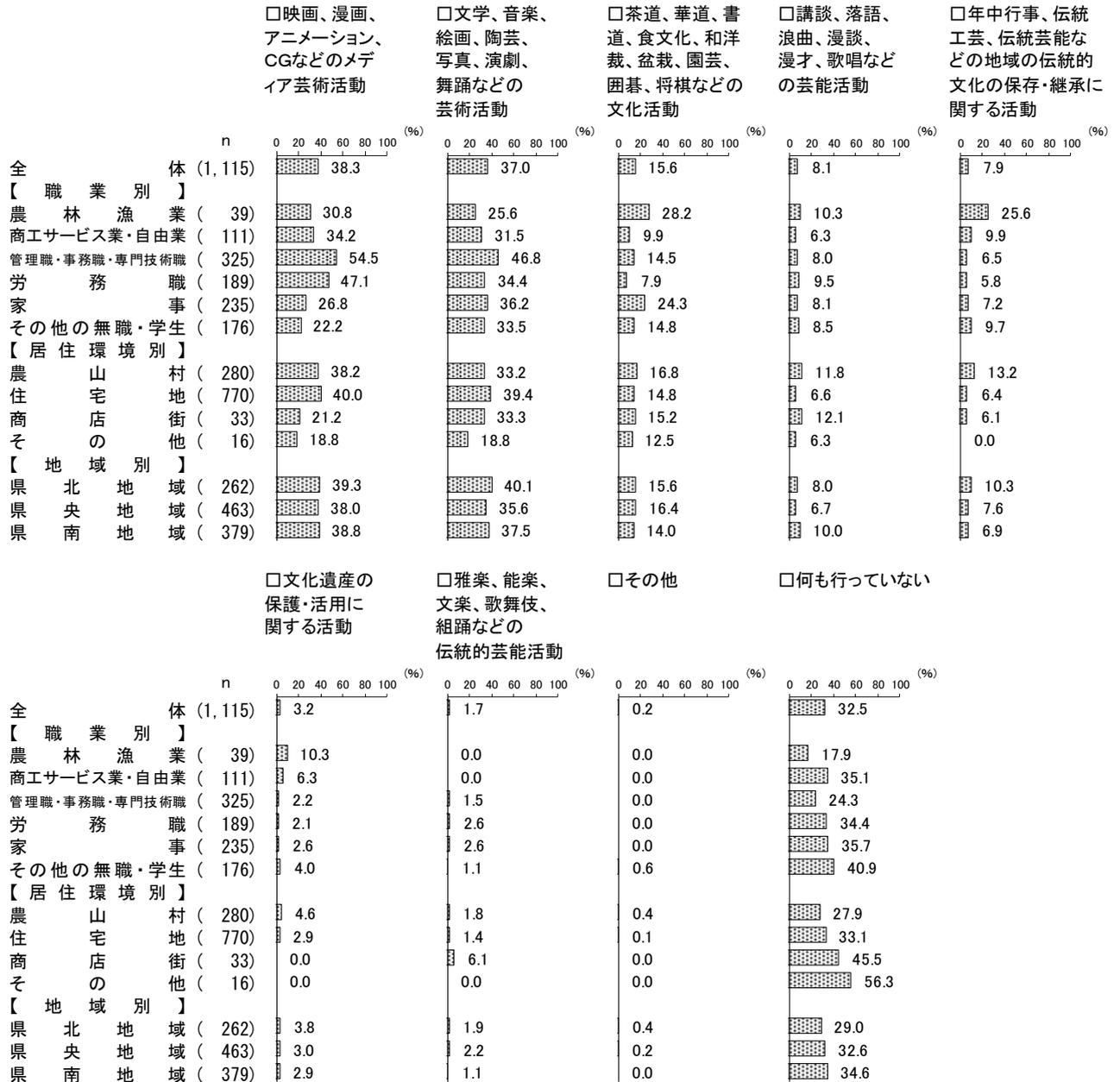
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『芸術活動』では〈女性〉(41.9%)が〈男性〉(32.0%)より9.9ポイント高く、「茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動(以下『文化活動』という。)」では〈女性〉(19.1%)が〈男性〉(11.6%)より7.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『メディア芸術活動』では〈男性20歳代〉が77.5%と高くなっている。『芸術活動』では〈女性20歳代〉が68.6%と高くなっている。「年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動」では〈男性65～69歳〉が20.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『メディア芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.5%と高くなっている。『芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が46.8%と高くなっている。『文化活動』では〈農林漁業〉が28.2%と高くなっている。「年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動」では〈農林漁業〉が25.6%と高くなっている。一方、「何も行っていない」では〈その他の無職・学生〉が40.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「年中行事、伝統工芸、伝統芸能などの地域の伝統的文化の保存・継承に関する活動」では〈農山村〉が13.2%と高くなっている。一方、「何も行っていない」では〈商店街〉が45.5%と高くなっている。

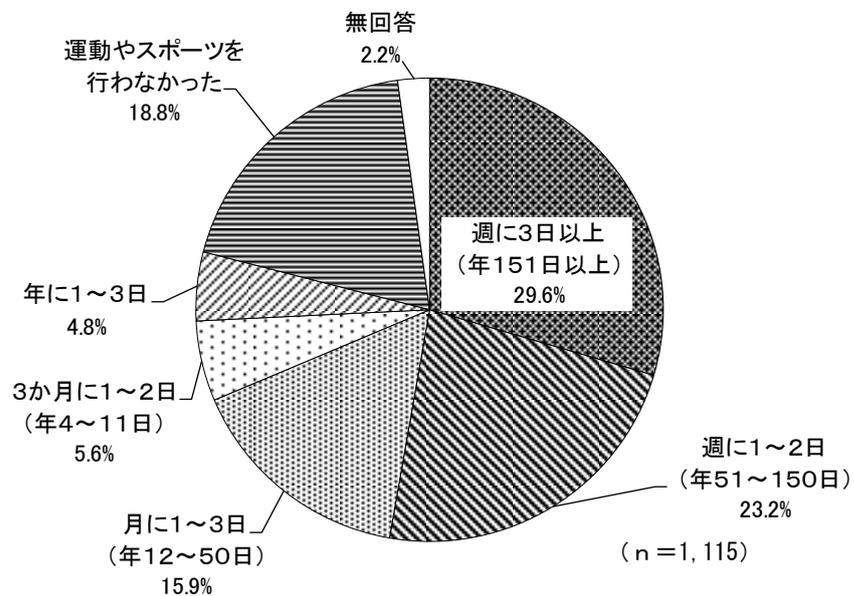
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

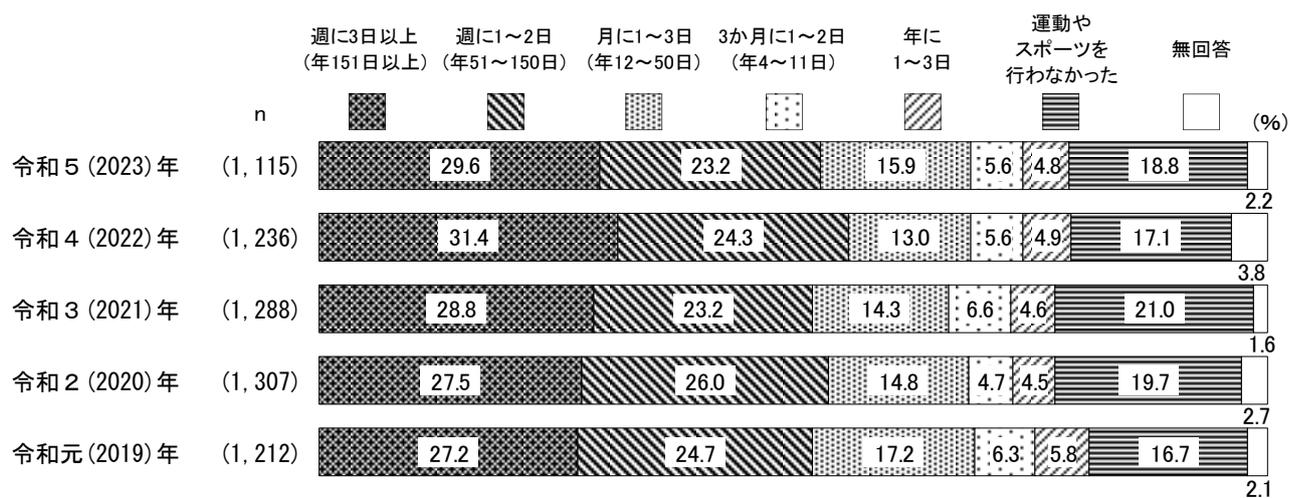
※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

1 週に3日以上(年151日以上)	29.6%	4 3か月に1~2日(年4~11日)	5.6%
2 週に1~2日(年51~150日)	23.2%	5 年に1~3日	4.8%
3 月に1~3日(年12~50日)	15.9%	6 運動やスポーツを行わなかった	18.8%
		(無回答)	2.2%



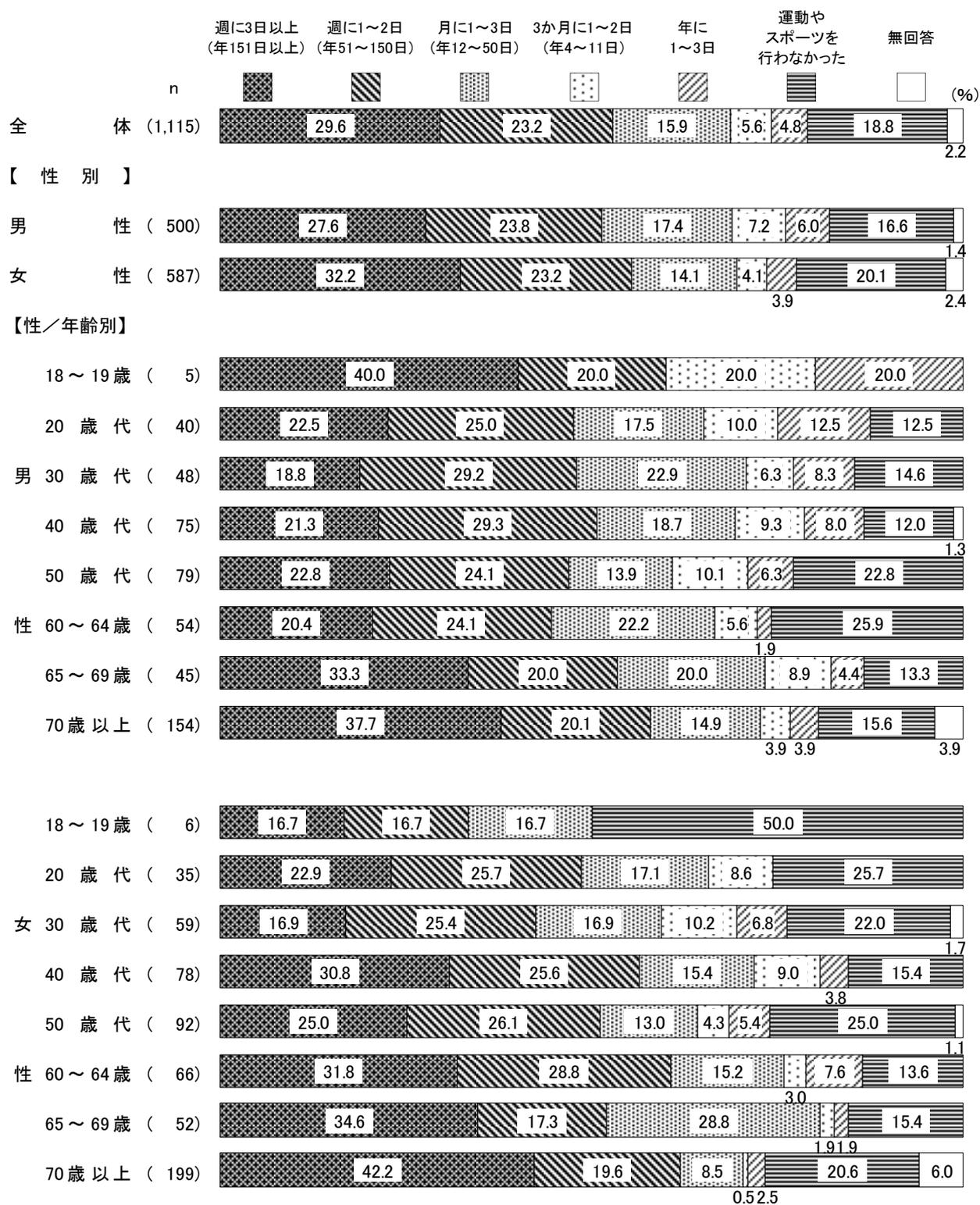
全体で見ると、「週に3日以上(年151日以上)」(29.6%)が3割弱で最も高く、次いで「週に1~2日(年51~150日)」(23.2%)、「月に1~3日(年12~50日)」(15.9%)の順となっている。一方、「運動やスポーツを行わなかった」(18.8%)が2割近くとなっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、「月に1~3日(年12~50日)」が前回(令和4(2022)年)より2.9ポイント増加している。一方、「週に3日以上(年151日以上)」が前回(令和4(2022)年)より1.8ポイント減少している。

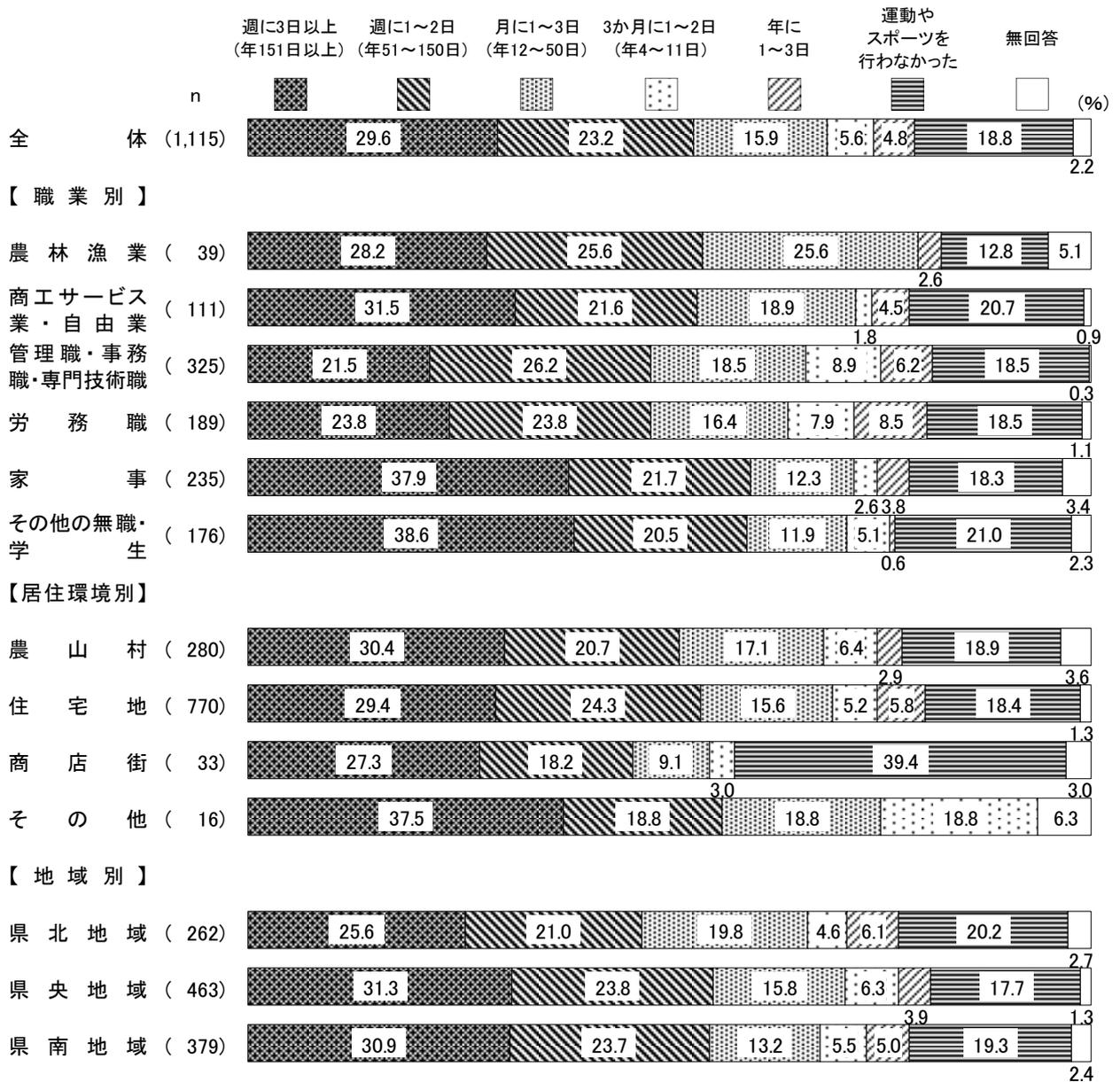
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「週3日以上 (年151日以上)」では〈女性70歳以上〉が42.2%と高くなっている。「月に1~3日 (年12~50日)」では〈女性65~69歳〉が28.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



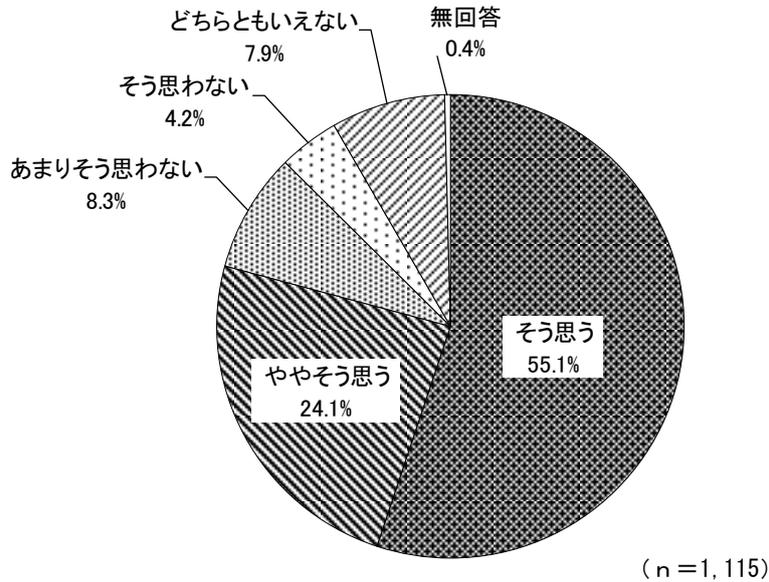
職業別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈その他の無職・学生〉が38.6%、〈家事〉が37.9%と高くなっている。「月に1～3日（年12～50日）」では〈農林漁業〉が25.6%と高くなっている。

居住環境別でみると、「運動やスポーツを行わなかった」では〈商店街〉が39.4%と高くなっている。地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

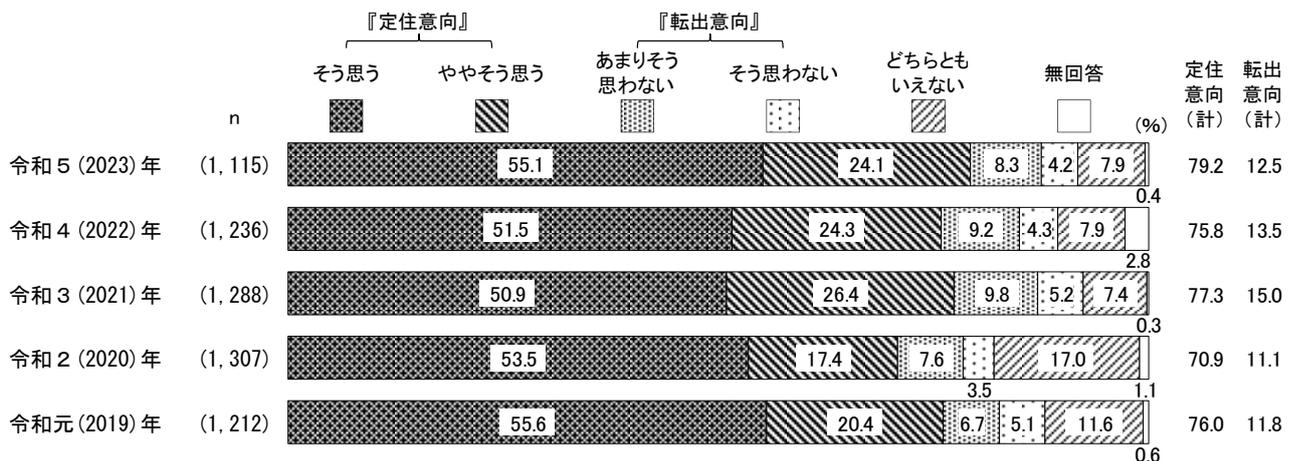
(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

1	そう思う	55.1%	4	そう思わない	4.2%
2	ややそう思う	24.1	5	どちらともいえない	7.9
3	あまりそう思わない	8.3		(無回答)	0.4

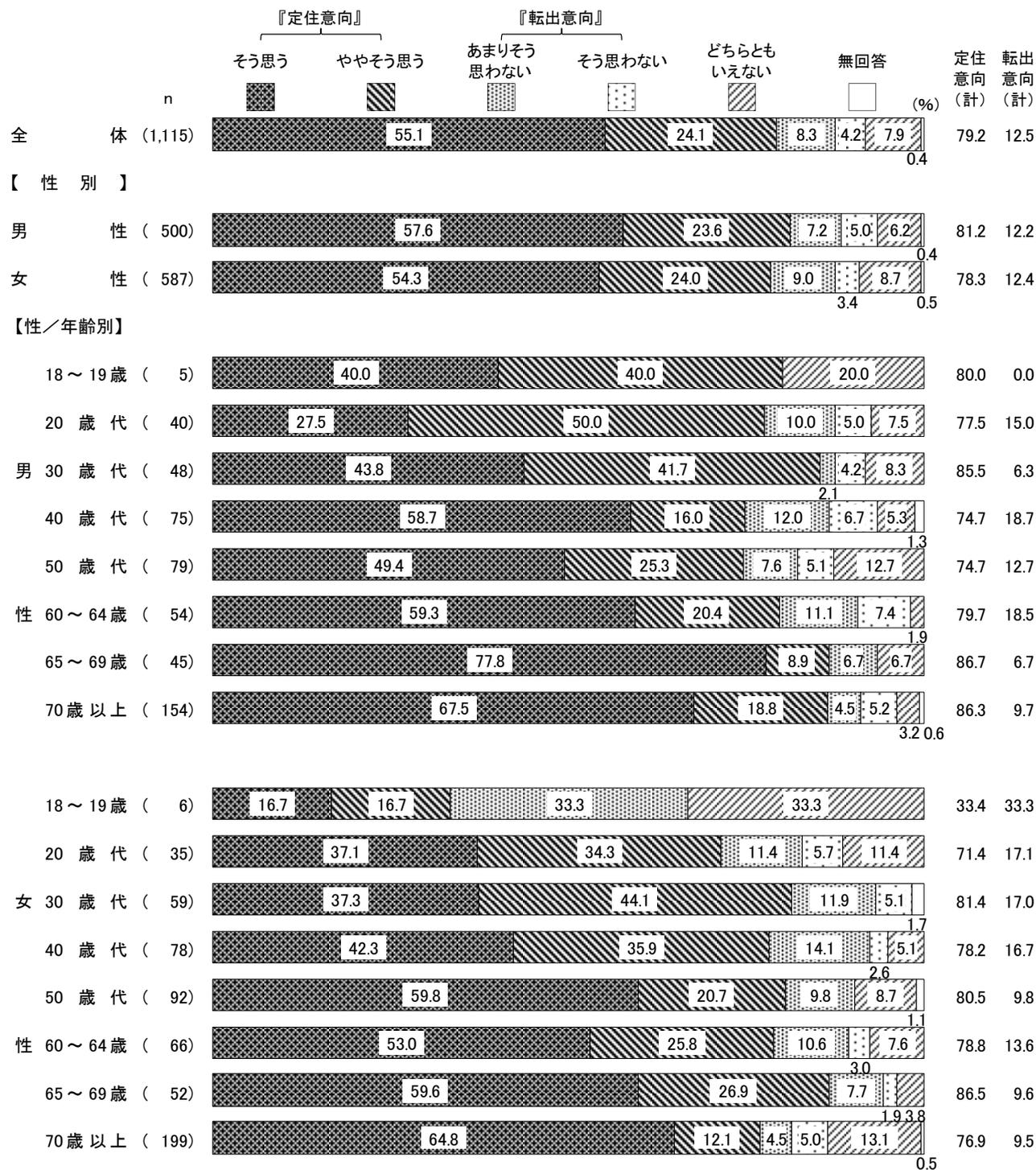


全体でみると、「そう思う」(55.1%)と「ややそう思う」(24.1%)の2つを合わせた『定住意向』(79.2%)が8割弱となっている。一方、「あまりそう思わない」(8.3%)と「そう思わない」(4.2%)の2つを合わせた『転出意向』(12.5%)が1割強となっている。



過去の調査結果と比較すると、「そう思う」が前回(令和4(2022)年)より3.6ポイント増加している。

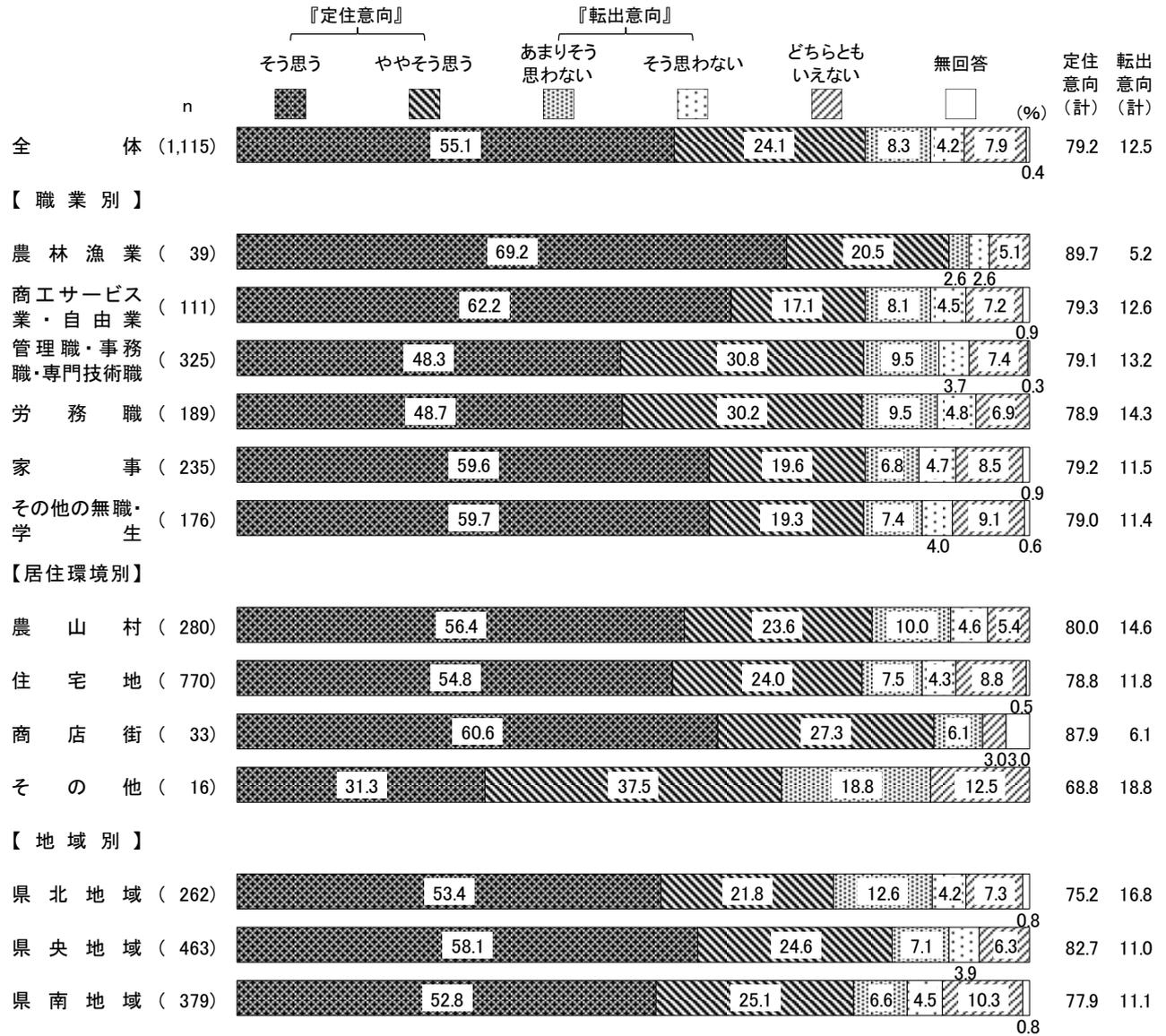
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「そう思う」では〈男性65～69歳〉が77.8%、〈男性70歳以上〉が67.5%と高くなっている。「ややそう思う」では〈男性20歳代〉が50.0%、〈女性30歳代〉が44.1%、〈男性30歳代〉が41.7%、〈女性40歳代〉が35.9%、〈女性20歳代〉が34.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『定住意向』は〈農林漁業〉が89.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、『定住意向』では〈商店街〉が87.9%と高くなっている。

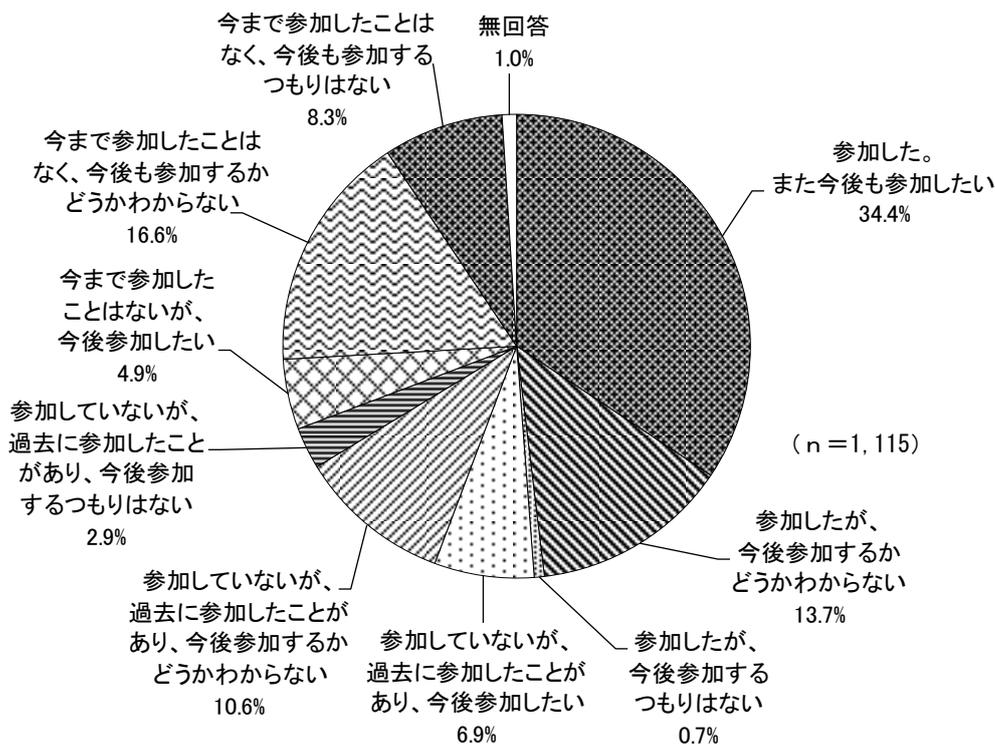
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

1	参加した。また今後も参加したい	34.4%
2	参加したが、今後参加するかどうかわからない	13.7
3	参加したが、今後参加するつもりはない	0.7
4	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	6.9
5	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない	10.6
6	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	2.9
7	今まで参加したことはないが、今後参加したい	4.9
8	今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない	16.6
9	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	8.3
	(無回答)	1.0

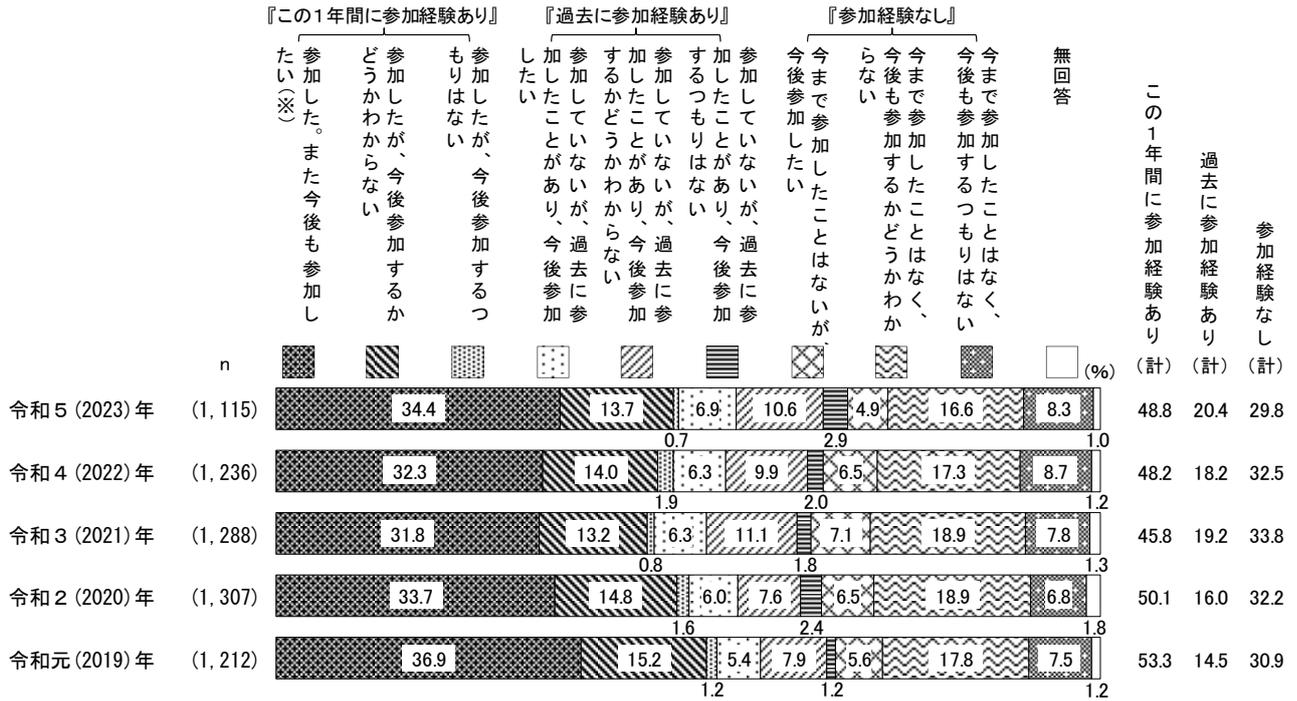


全体でみると、「参加した。また今後も参加したい」(34.4%)と「参加したが、今後参加するかどうかわからない」(13.7%)、「参加したが、今後参加するつもりはない」(0.7%)の3つを合わせた『この1年間に参加経験あり』(48.8%)が5割近くとなっている。

「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい」(6.9%)と「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない」(10.6%)、「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない」(2.9%)の3つを合わせた『過去に参加経験あり』(20.4%)が約2割となっている。

「今まで参加したことはないが、今後参加したい」(4.9%)と「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない」(16.6%)、「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(8.3%)の3つを合わせた『参加経験なし』(29.8%)が3割弱となっている。

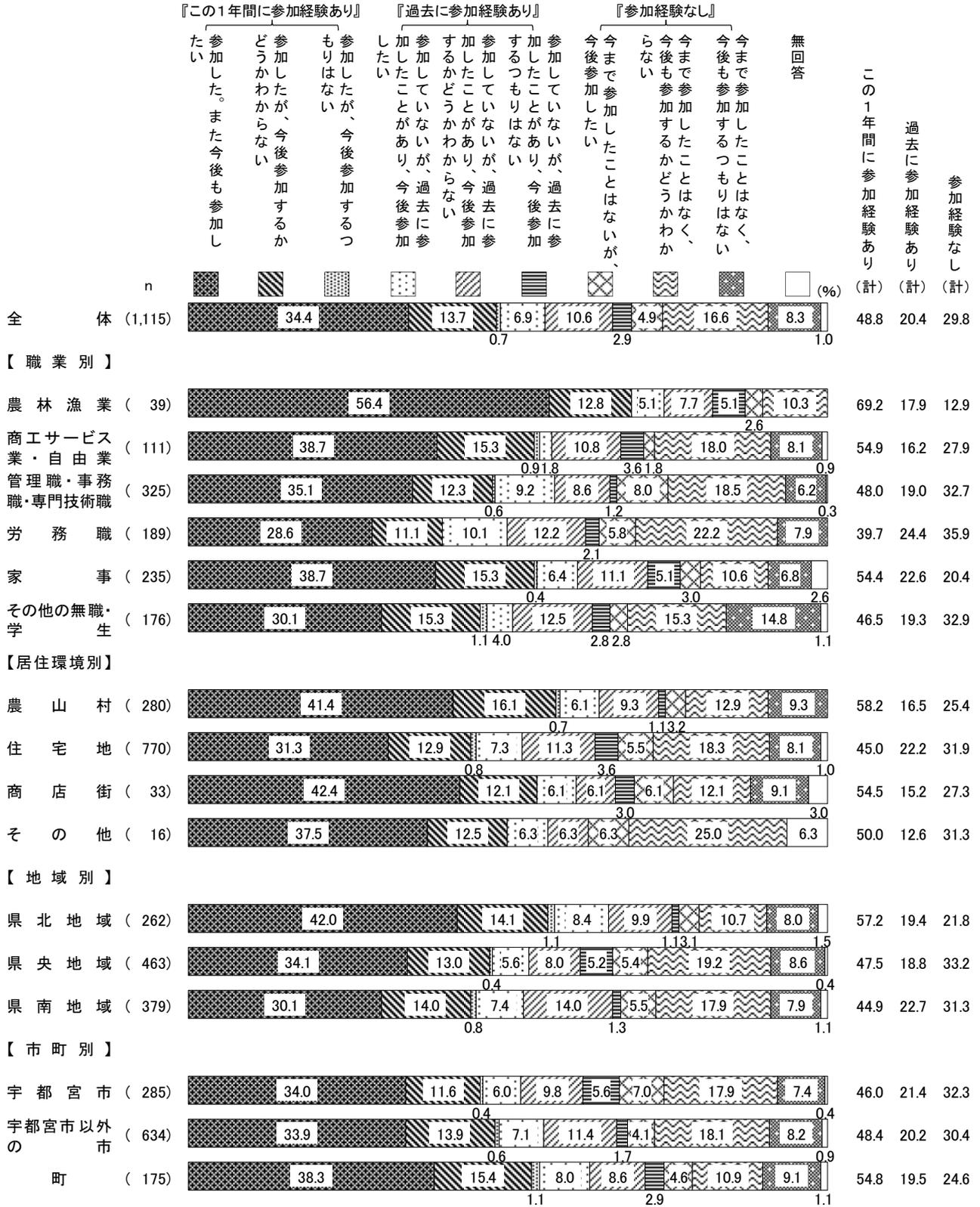
[過去の調査結果]



(※) 「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

過去の調査結果と比較すると、前回(令和4(2022)年)と大きな傾向の違いはみられない。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農林漁業〉が69.2%、〈商工サービス業・自由業〉が54.9%、〈家事〉が54.4%と高くなっている。一方、『参加経験なし』では〈労務職〉が35.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈農山村〉が58.2%、〈商店街〉が54.5%と高くなっている。

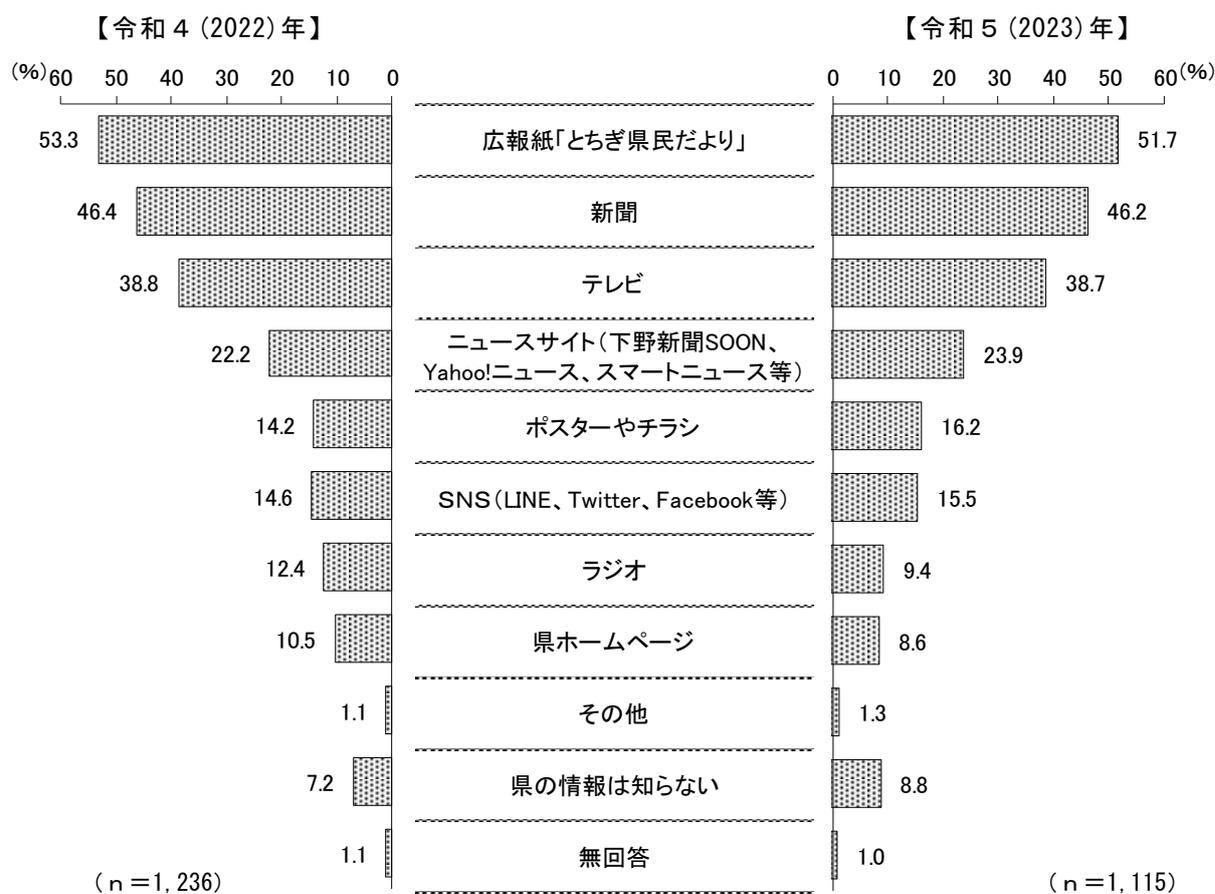
地域別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈県北地域〉が57.2%と高くなっている。

市町別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈町〉が54.8%と高くなっている。

(5) 県の事業や催し、案内などの情報入手手段

問11 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

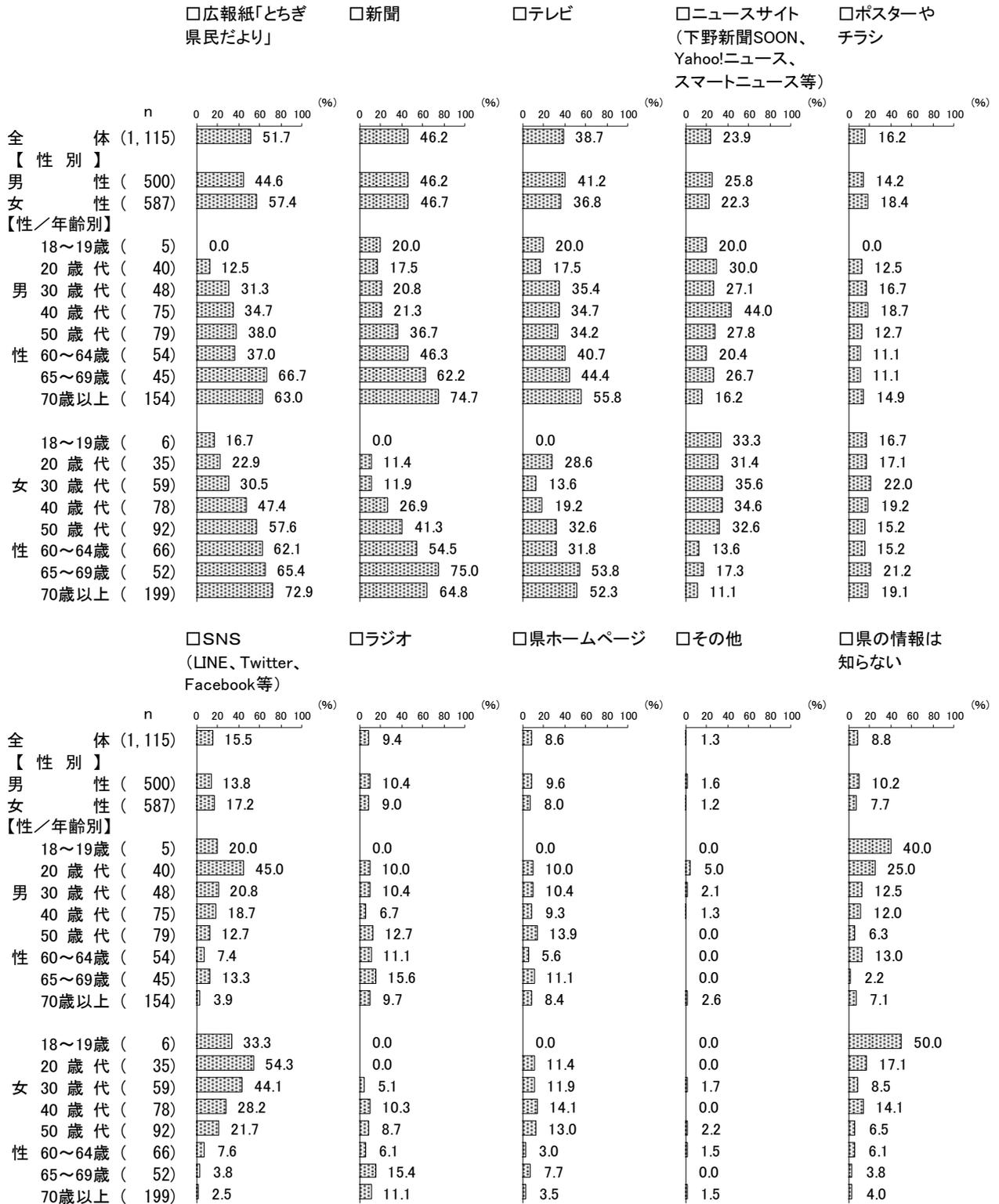
1	広報紙「とちぎ県民だより」	51.7%	7	ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）	23.9%
2	テレビ	38.7	8	ポスターやチラシ	16.2
3	ラジオ	9.4	9	その他	1.3
4	県ホームページ	8.6	10	県の情報は知らない	8.8
5	SNS（LINE、Twitter、Facebook等）	15.5		（無回答）	1.0
6	新聞	46.2			



全体で見ると、「広報紙『とちぎ県民だより』」(51.7%)が5割強で最も高く、次いで「新聞」(46.2%)、「テレビ」(38.7%)、「ニュースサイト(下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等)」(23.9%)の順となっている。

前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

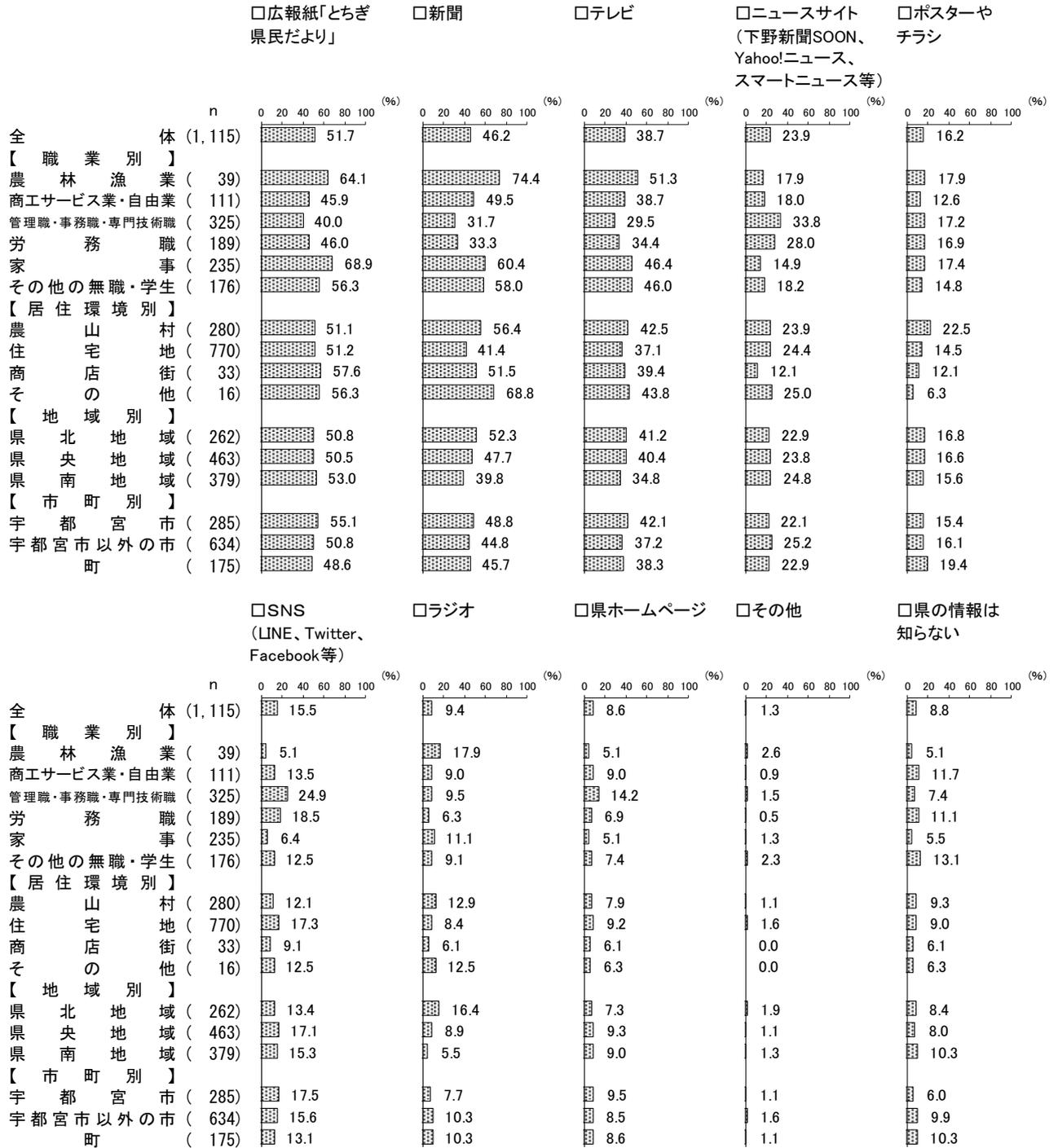
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性〉(57.4%)が〈男性〉(44.6%)より12.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性70歳以上〉が72.9%と高くなっている。「新聞」では〈女性65～69歳〉が75.0%と高くなっている。「テレビ」では〈男性70歳以上〉が55.8%と高くなっている。「ニュースサイト(下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等)」では〈男性40歳代〉が44.0%と高くなっている。「SNS(LINE、Twitter、Facebook等)」では〈女性20歳代〉が54.3%と高くなっている。一方、「県の情報は知らない」では〈男性20歳代〉が25.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈家事〉が68.9%と高くなっている。「新聞」、「テレビ」では〈農林漁業〉がそれぞれ74.4%、51.3%と高くなっている。「ニュースサイト（下野新聞SOON、Yahoo!ニュース、スマートニュース等）」、「SNS（LINE、Twitter、Facebook等）」では〈管理職・事務職・専門技術職〉がそれぞれ33.8%、24.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈商店街〉が57.6%と高くなっている。「新聞」、「ポスターやチラシ」では〈農山村〉がそれぞれ56.4%、22.5%と高くなっている。

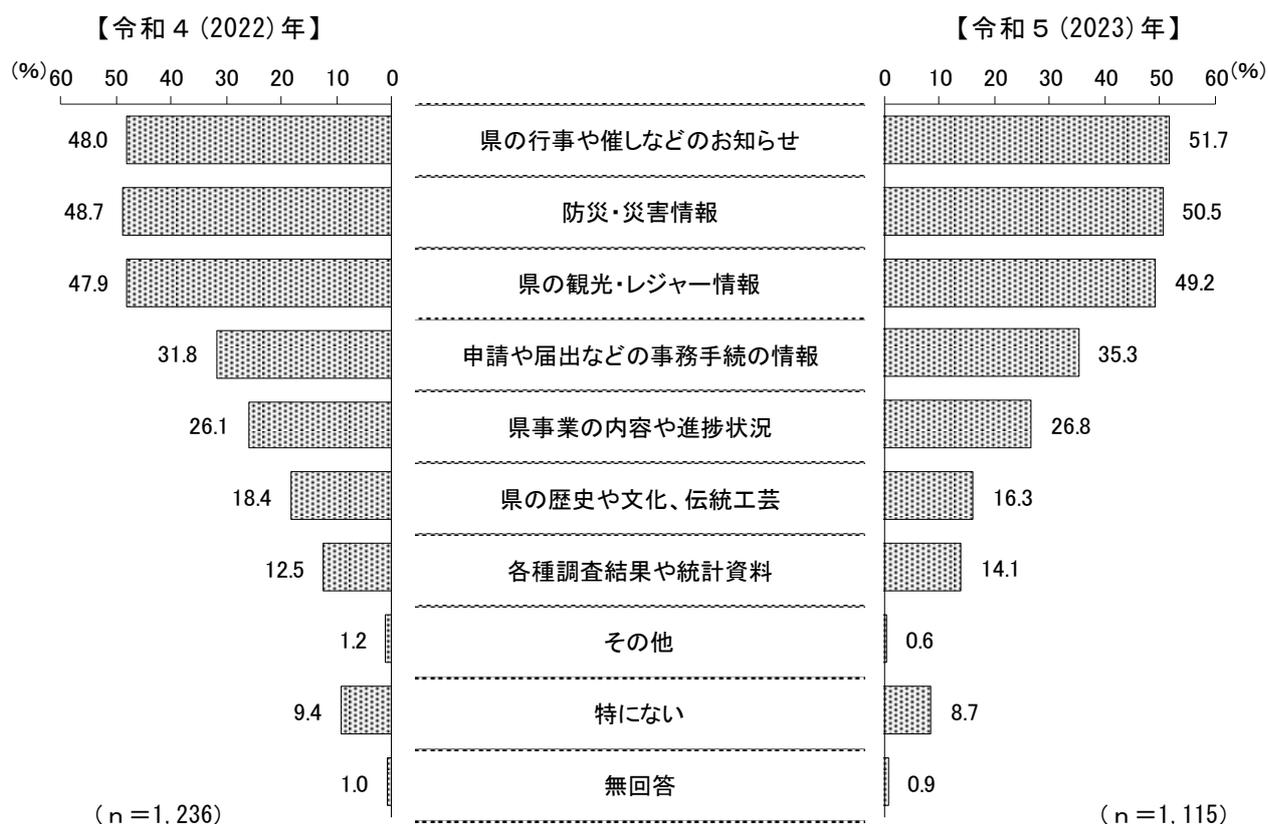
地域別でみると、「新聞」、「ラジオ」では〈県北地域〉がそれぞれ52.3%、16.4%と高くなっている。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(6) 知りたい県政情報

問12 あなたは、県のどのような情報を知りたいですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

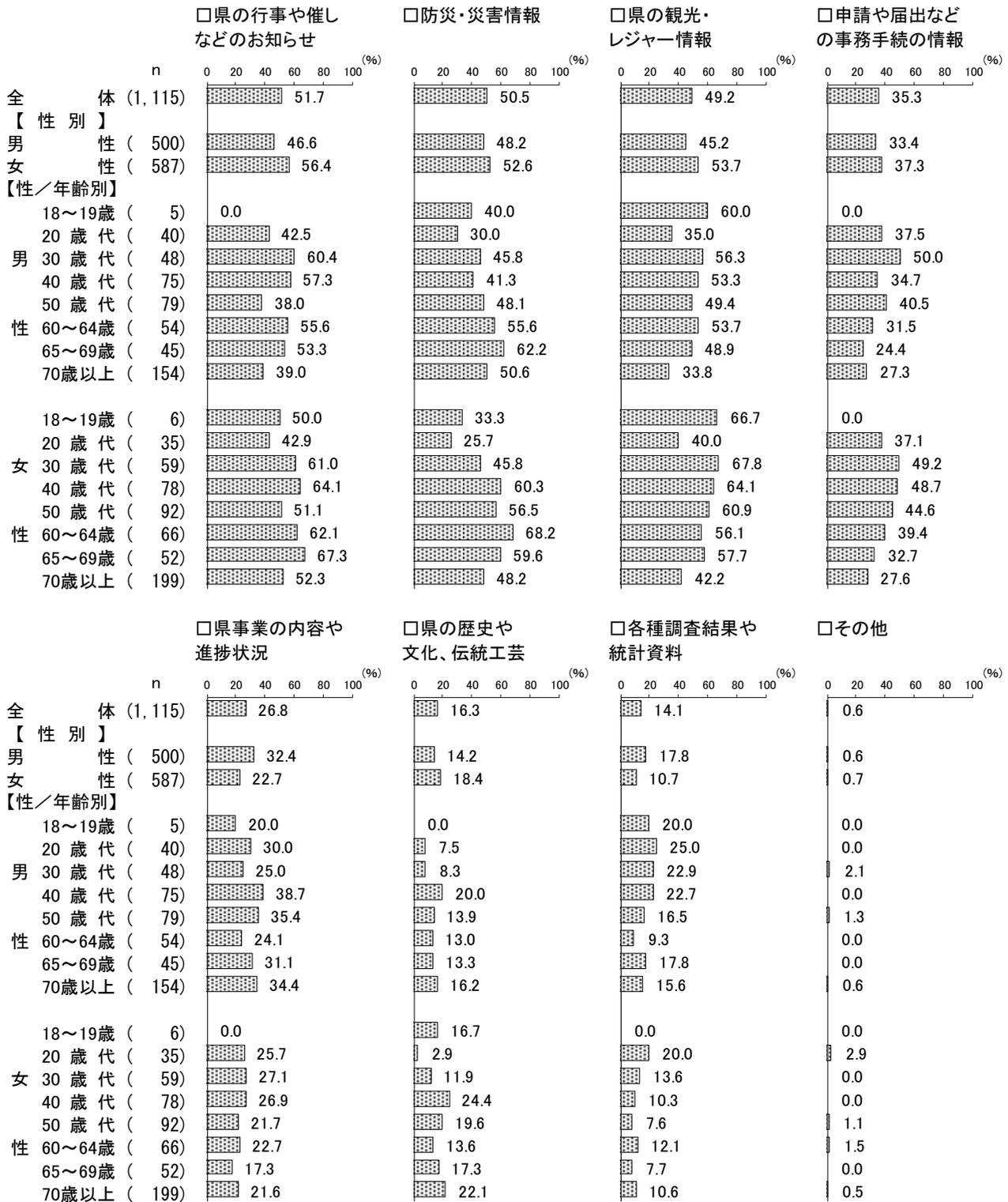
1 県事業の内容や進捗状況	26.8%	6 県の観光・レジャー情報	49.2%
2 申請や届出などの事務手続の情報	35.3	7 防災・災害情報	50.5
3 各種調査結果や統計資料	14.1	8 その他	0.6
4 県の行事や催しなどのお知らせ	51.7	9 特にない	8.7
5 県の歴史や文化、伝統工芸	16.3	(無回答)	0.9



全体で見ると、「県の行事や催しなどのお知らせ」(51.7%)が5割強で最も高く、次いで「防災・災害情報」(50.5%)、「県の観光・レジャー情報」(49.2%)の順となっている。

前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別]

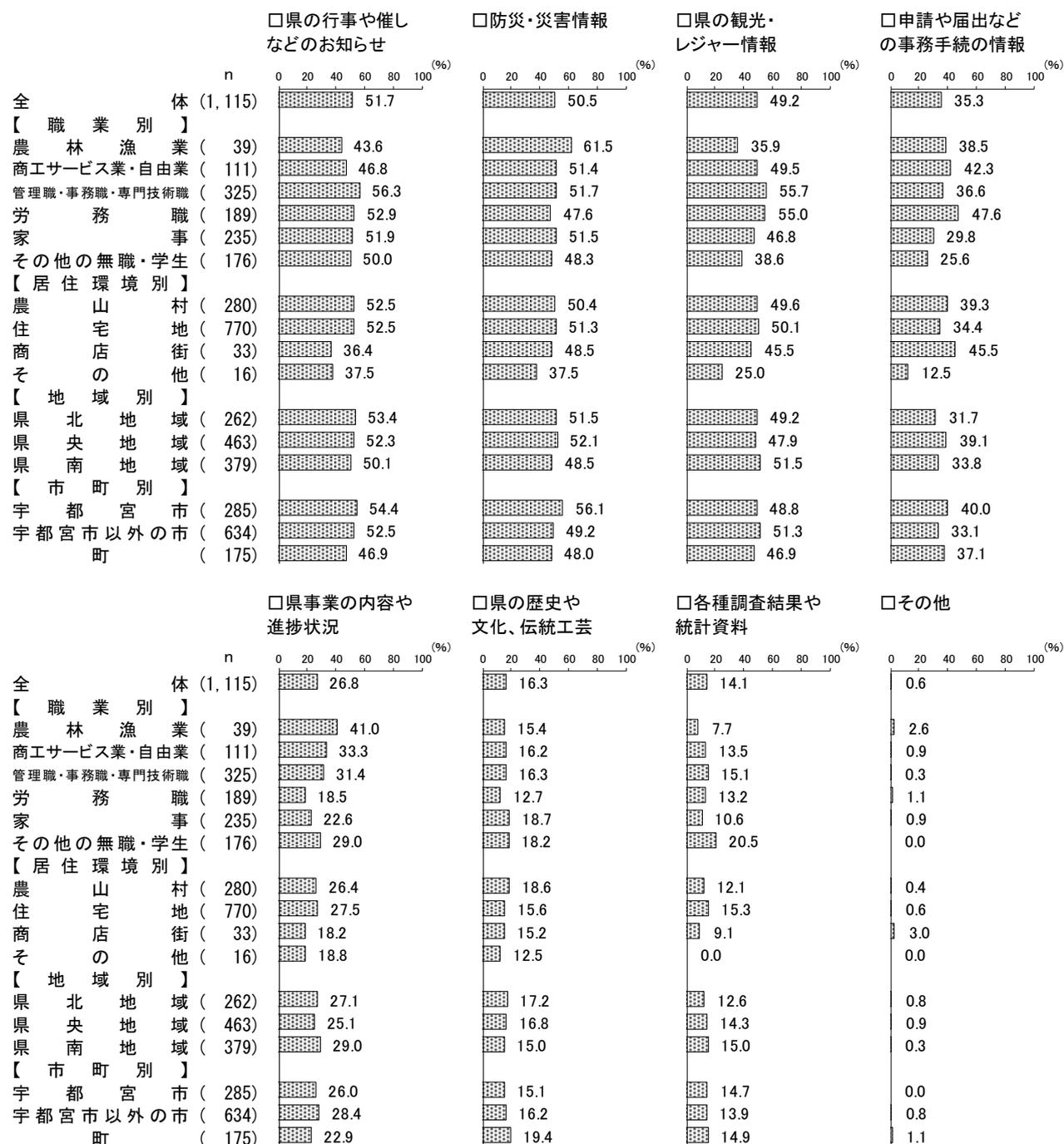


性別で見ると、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈女性〉(56.4%)が〈男性〉(46.6%)より9.8ポイント高くなっている。「県の観光・レジャー情報」では〈女性〉(53.7%)が〈男性〉(45.2%)より8.5ポイント高くなっている。一方、「県事業の内容や進捗状況」では〈男性〉(32.4%)が〈女性〉(22.7%)より9.7ポイント高くなっている。「各種調査結果や統計資料」では〈男性〉(17.8%)が〈女性〉(10.7%)より7.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈女性65～69歳〉が67.3%と高くなっている。「防災・災害情報」では〈女性60～64歳〉が68.2%と高くなっている。「県の観光・レジャー情報」では〈女性30歳代〉が67.8%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈男性

30歳代)が50.0%と高くなっている。「県事業の内容や進捗状況」では〈男性40歳代)が38.7%と高くなっている。「各種調査結果や統計資料」では〈男性20歳代)が25.0%と高くなっている。

〔職業別・居住環境別・地域別・市町別〕



職業別でみると、「防災・災害情報」では〈農林漁業)が61.5%と高くなっている。「県の観光・レジャー情報」では〈管理職・事務職・専門技術職)が55.7%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈労務職)が47.6%と高くなっている。「県事業の内容や進捗状況」では〈農林漁業)が41.0%と高くなっている。「各種調査結果や統計資料」では〈その他の無職・学生)が20.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、「申請や届出などの事務手続の情報」では〈商店街)が45.5%と高くなっている。地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、「防災・災害情報」では〈宇都宮市)が56.1%と高くなっている。